



# すいせん交流 i n 安八



5月23日(木)・24日(金)の2日間、すいせん交流 i n 安八と題して福井県福井市の越<sup>こしの</sup>廻小学校5・6年生が牧小学校を訪れ、牧小5・6年生と教育交流をしながら平野の広がる岐阜の暮らしを学びました。

この交流は安八町と旧越廻村のまち(むら)の花がどちらも「水仙」であることをきっかけに平成10年から行われています。お互いの学校を訪れ、そこで様々な文化や教育体験をすることで、視野を広げるとともに、豊かな人間性を育むことを目的としています。



木曾三川公園にて



▲東海地区最大級の望遠鏡で星を見ました

1日目は低地での生活や治水を木曾三川公園で学び、夕食は児童たちが育てた野菜を使って、保護者の皆さんが愛情をたっぷり込めて作ったカレーライスなどを美味しくいただきました。

夜には、安八温泉で楽しく入浴してからハートピア安八で星見会をしました。

2日目は新鮮な野菜の収穫体験や、クリーンファーム・まきの倉庫で大型のトラクターや田植え機を見学し、ふれあいセンターで粉まみれになりながらほうれん草うどんを作って食べました。来年は、すいせん交流 i n 越廻と題して山と海に挟まれた漁村の越廻地区に牧小児童が訪れ、海水浴や海釣りなど、海が身近な暮らしを学びます。